

## 増尾先生に感謝を込めて

清水まさ志

私が大学院生の頃は、増尾先生は他大学で教鞭を執られており、増尾先生が筑波大学に着任されてからは、私は留学中で、筑波のキャンパスでは微妙にすれ違っておりました。私の学生の頃は、パリで博論を書いて戻り新進気鋭の研究者として活躍されている憧れの先輩という印象でした。

実際に増尾先生に大変お世話になったのは、私が留学から戻り就職活動を始めたときからでした。生まれ故郷の富山で非常勤講師をしていた頃、いつも公募情報を知らせてくださったことは今でもよく覚えております。もう専任になってなれっこないなとほとんど諦めていたときも、公募情報が先生から郵送で届くと、やはりひとつでも多く論文を書こうと励まされました。そして、公募のさいには、労をいとわず推薦状を書いてくださったり、連絡先になっていただいたり本当に助けていただきました。

私が2019年から学会誌の編集委員を務めたとき、ちょうど増尾先生も編集委員で、委員会で一緒にできたのは良い思い出です。増尾先生と肩を並べて自分が座れるようになったのも、先生がいつも寛大に手を差し伸べてくださったからだと思いました。地方を転々として筑波のキャンパスに立ち寄ることもないのですが、ずっと心のなかで筑波大学とつながってこられたのは、増尾先生の優しい笑顔のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

(しみず まさし / 鳥取大学准教授)